

入中1年人権だより

徳島市 八万中学校
1年生 第8号
2022年10月11日
編集・文 吉成正士

続いていますか？あの日の思い

■今日、自分はSDGsについての人権学習をして、いろいろなことを学びました。特に1年間に約250万人の子どもが死んでしまっていて、1日では約7000人の赤ちゃんや子どもが飢餓や貧困で死んでしまっているというのを聞いて、とても衝撃でした。僕は毎日もう食べられないと思うほど美味しいものを食べています。自分はシイタケとトウモロコシが嫌いなのでよく残します。僕は、自分が今までにとってきた行動は、絶対にしてはいけないうし、何て申し訳ないことをしていたのだらうと思いました。だから僕は、これからずっとは考えないかもしれないけど、朝食や夕食を食べている時は、食べ物がないで死んでしまっている人たちがいると自覚して、好き嫌いせずに食べ物に感謝し、今、自分たちが美味しく魚やご飯、肉を食べられていることを当たり前と思っていけないと分かりました。

この学習を通して、SDGsについて考えるだけでなく、それを行動に移すことが大切だと分かったし、2030年にはSDGsを達成していることが当たり前になっている世界がいいなと思いました。そして吉成先生の言っていた、「正しく知って、正しく行動し、自分がすごく、みんなで少しずつ、続ける」ということが本当に大切だと思いました。

1組KH

私たちが日ごろいただいているもので生きていなかったものは、おそらく水と塩だけです。あとのものは、植物にしる動物にしる、必ず何かの命であったはずで。つまり私たちは、他の命をいただくことでしか生きることができないのです。そう考えると、食べ物を捨てるということは、「命を粗末にする」ということです。だから、「いじめや差別はいけません」と言いながら、平気で食べ物を捨てるようであれば、その行動自体、矛盾しているといえるのではないのでしょうか。



あれから1週間が経ちました。みなさんが抱いた思いは今も大切に残り、行動につながっているのでしょうか。すごく頑

張れる人は、すごく頑張ってください。でも、あまり頑張れない人も、少しずつ頑張りました。そして、続けましょう。仲間と共に。

「12つかう責任」で「14海と15陸」を守る

■私は今日の総合の活動で、SDGsは私たちが日ごろから意識するべきことであるとあらためて感じました。も

ちろん私たちじゃ達成することの難しい課題もあるけど、だからといって、何もできないわけじゃないので、これからは自分も将来に向けてSDGsへの取り組みをしていきたいと思います。

SDGsへの理解を深めるのも取り組みの一つだと思うし、身近なことでいえば、ゴミの分別や道端や海、川などでゴミを捨てないことだったり、学校の給食をいつもより少しでも多く増やしたり、買い物に行った際にレジ袋をもらわずに、日ごろからエコバッグなどを持ち歩くのも、SDGsへの意識は高まっていくんじゃないかなと感じました。

8年後というのは遠い先のことに思えて、案外すぐに来たりするんじゃないかと思います。しかもSDGsは17項目もあり、どの項目も達成するにはまだまだ時間がかかると思うので、少しでもSDGsのすべての項目が達成し、世界の人たちみんなが平等であり、豊かに過ごせるように、今私たちができる最大限のことをしていきたいです。

1組HA

この17の目標とずっとにらめっこをしていて、あることに気づきました。今ここで書き表すのは大変難しいのですが、どうやらこの17の目標はすべてつながっていて、それが「社会の仕組み」になっているということです。難しい言い方をすると、「社会構造」というものです。だから、17の目標をジグソーパズルのように組み立てていくと、世の中のあらゆることが、その中に収まってしまいます。考えていて自分で驚いてしまいました。全体学習の中ではみなさんに示すことはできませんでしたが、またいつかどこかで聞いてもらえたらと思います。



さて、ゴミの中でも厄介なものの一つが、レジ袋です。エコバッグを使う人が多くなってきて喜ばしいのですが、ではどうしてレジ袋が良くないのかは分かりますか？海に流れ出してしまうと、クラゲのように見えて、亀などの大型の海洋生物が食べてしまうのだそうです。でも、消化できませんし、便にも出ないので、お腹の中に溜まっていき、いずれ死んでしまう…ということです。でも、問題なのはレジ袋だけかというと、そうではありません。問題なのは、プラスチック製品であるということです。

プラスチック製品は自然分解されません。自然界に放置されると、劣化して粉々にはなるものの、残り続

けていくのです。それを、マイクロプラスチックと言います。5ミリから目に見えない大きさの物までが、この地球上に散らばっています。特に、海！先ほど、大型の海洋生物がレジ袋を食べてしまったと言いましたが、小さめの魚は、このマイクロプラスチックを食べるわけです。プラスチック製品の象徴的な物としてレジ袋があげられているのであって、他のプラスチック製品も、大問題なわけです。さあ、どうしましょう。



「⑦エネルギー」と「⑬気候変動」STOP！

■僕は第2回学年全体人権学習での発表を聞いて、命は平等でなくてはいけないものだと思った。食料が不足して、飢餓で亡くなったり、きれいな水を飲めず亡くなったりしているのは、僕たちみたいな食料があって当たり前、きれいな水を飲んで当たり前な人々のせいでもあると思った。

エネルギー(電気)をいっぱい使ったり、つけっぱなしにしたりするのも環境に影響があると思う。自分たちが消費者ということを絶対に忘れてはいけない。そして、戦争をしてはいけない。人々を取り残すような行動をとるのは、絶対にしてはいけない。

SDGsを意識して動かないと、1日で赤ちゃんが800人亡くなったり、1年間で250万人の子どもが亡くなってしまう。僕は、みんなで笑って過ごせるようにしていきたい。「正しく知って、正しく行動する」ことが大切だと思う。
4組OY

学校からの帰り道。自転車で走っていると、「その電気、つけてる必要あるの？」と、毎日のように思います。私たちが安全に暮らしていくためには必要であっても、必要かどうか疑わしい光景もあるように思います。確かに灯りがあれば、ホッとしますし、安全でもあります。けど、それだけで十分です。それ以上の灯りは必要ないように思います。

電気を使うということは、エネルギーを使うということです。エネルギーのものは、石油、石炭、天然ガス、水力、原子力、あとは、地熱、太陽光、風力などです。そのなかで、「⑦クリーンエネルギー」といえば、どうでしょうか。私たちは生きてるだけでCO₂(二酸化炭素)を出しているのですから、地球温暖化の原因となる余分なCO₂はできるだけ排出しないようにしたいものです。とはいえみなさんは、エネルギーを手放す勇気はありますか？電気を使わなくする覚悟はありますか？スマホやケータイ、ゲームは手放せますか？でも、どこかで、その覚悟を持たないといけないのかもしれないかもしれません。できるでしょうか？

一方で、「⑨産業と技術革新の基盤をつくろう」というものもあります。つまり、みんなで知恵を合わせ

て技術革新をし、クリーンエネルギーで今の生活が維持できるようにしよう、ということです。そのためには、技術や数学、理科の力が必要となります。海外の人と協力するには外国語も必要となります。今、みなさんがしてる学習そのものが、持続可能な社会につながるかもしれないのです。

本当の意味で、すべてに「やさしい」社会に

■SDGsを達成するために、自分がした行動に責任を持つことだと思います。例えば、必要でないものを買ってしまった時、買ったものを最後まで大切に使うことです。自分たちの行動によって自分たち人間だけが取り残されているわけではなく、海の生物や森にいる動物にも被害が出るので、行動するときは本当に正しい行動なのか考えて行動していきたいと思います。壊れてしまった場合、修理できるものは修理し、小さくなった服などは親戚の人に譲ればいいと思います。

8年後の未来は私たちにかかっているの、みんなで協力し合い、少しずつ身近なことを達成していきたいと思います。元ハンセン病患者のキム・テグさんが言った、「正しく知って、正しく行動する」を実行するためには、SDGsなどの世界について知り、一人一人が正しい行動をすることだと思います。自分たちで未来への道を切り開くために、SDGsなどの問題にも関わっていききたいと思います。
4組SY

「大量生産・大量消費」「消費は美德」、そう言われた時代がありました。今思えば、乱暴な時代でした。自分勝手な時代でした。今が良ければいい、自分が良ければいい、そんな時代でした。狂っていたと言ってもいいと思います。そのツケが、「今」、回ってきたということです。

大きなゴミや有害なゴミの処理は特に、「⑩つくる責任、つかう責任」として、使った私たちにも、生産者である企業にも、その責任が出てきます。無責任であってははいけません。

ところが、人間には、自分にとって都合の悪いものは遠ざけて見えないようにするという弱さやずるさがあります。「責任」という発想に結びつかなかった時代、ゴミが、私たちの目には届かない山奥とか海岸に大量に捨てられ、埋められました。まるで、「臭いものにはフタをする」みたいに。果たしてその場所は今、何の害もなく済んでいるのでしょうか？むしろ、後々の代にツケを回しているような気がします。そうではなくて、後々にツケを回さないような社会につくり変えていく必要があるということです。そんなふうに発想の転換をする必要があるということです。

9号につづく

